

みなしご通信



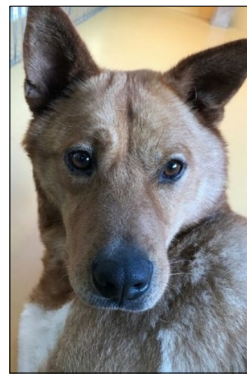
熊谷咬傷事件 犬6匹を保護

6月20日、埼玉県熊谷市で起きた犬の咬傷事件。無責任な飼い主は飼養頭数6匹のうち3匹を放し飼いで、その3匹が「咬んだ」騒動に発展。「咬んだ」とされる犬を熊谷保健所が捕まえたのが6日後。その時点で犬には《埼玉県のきまわり》により殺処分以外の道はありませんでした。収容期限は2週間。現地に行けない私の代わりにうちのワタナベが根気強く熊谷保健所と交渉し続けました。同日29日、飼い主は畜犬登録していなかった容疑で熊谷署に逮捕されました。よその警察は面倒がってなかなか逮捕してくれないので私たちがとってはとてもありがたく、追い風になりました。★犬が町を闊歩。悪いのは放した飼い主★犬が人

を咬んだ。悪いのは咬む犬に育てた飼い主。そして同じように悪いのは★それらの指導が行き届かなかった保健所。なのに犬だけが処分されて完結するのはおかしいに決まっとなる。

7月8日、埼玉県動物指導センターから《事件犬の引き出し》という事で熊谷署員も立ち合い計6匹のお迎えに行きました。「生かす喜び」は何にも代えがたいものです。「良かった、幸せになれよ」今回の事件に深く関わってきた保健所・警察署・我々関係者一同、喜びました。全員元気なので、すぐに不妊手術。何はともあれ熊谷で咬傷事件を起こしたと騒がれた犬たちは処分されることなく、犬猫みなしご救援隊栃木拠点で暮らすことになりました。

【ツカ永眠】2年前の夏 猟犬だったツカは理由は知りませんが飼い主（猟師）に捨てられました。家に戻られたら困るからと背骨を棒状のモノで叩き割られて。うちに来た当初は完全に人間不信でした。それでも辛抱強くツカを抱いていた忍。ツカはオシッコもウン〇も自分ではできないから忍が



全部出してしまいました。ツカに多飲多尿の傾向が見られたので私は忍にあきらめるよう言いました。「背骨が折れとんよ、いろんなところにヒズミが来るじゃろ？」忍はなかなか納得しません。「中谷さん！ツカが復活しました」「復活せん！それは寛解じゃ。短いと心しとけ！好きなもんを食べたいだけ食べさせんさい」男らしかつたツカがみるみる小さくなり、TNRの最中に忍が電話してきました。「中谷さん！ツカのところに来れますか？」『1分な



ら」ツカは顔を上げ私に「撫でろ」。あんなに私のことを「怖いオバサンが来た！」と逃げまくっていたのに『写真右』ツカはたった2年しかうちには居ませんでしたでしたが私たちに多くのことを学ばせてくれました。中谷ツカ永眠、合掌。私たちは一蓮托生。また来世で同じところに生まれます。

給湯器裏の猫

福山市にて、お年寄りがマンションの一室で猫2匹飼っていたが入院となり、うち1匹のクロちゃん給湯器の後ろに隠れたまま出て来なくなりしました。今回はお世話に通っていた姉妹からの保護依頼「私たちが終生の支援金を出しますから給湯器に挟まれた猫を助け出してやってください。」



色んなところに頼んだけれどどこもダメで」「チョロイチョロイ」私は30cm×50cmぐらいの給湯器の後ろにシャクシャク猫が隠れているのを想像していたのですが、実際『写真』は高さ2m、幅60cm、奥行も60cmで下にはパ

イプがガチャガチャ。しかし、中谷&田原が組んでできない救出はないのです。30分かかりましたが挟まっていた黒猫ちゃんは救出！どうやったかは企業秘密ですが考案したのは田原！この男、安い材料で何かを作らせたなら日本一。最高の捕獲ツールを作ったのです。悔しいけれど私は田原がいなければこの活動はできないと思っています。

2号バス最後の日



27日はみなしごバス2号最後の日でした。バスで全国を回るとどこでもTNRができるだけでなく一度に多くの猫を連れて帰ることもできますし宿泊代も浮きますし高速のPでは観光客に人気でコマージュとしましては最高級の仕事をしてくれそうです。つづくと、もはやバスのない活動は考えられない感じです。

この度、大阪日野さまのご協力を得てバスを一新することに。2号は2年間で8万キロ走り約800匹の犬猫を乗せ秋田から鹿児島まで約6000匹の不妊手術をしました。この偉業に敬意を示すべく私は今日、

2号の掃除に専念しました。猫サロンも犬エリアもなく寂しさを残りました。田原君と郷原さんと必死に磨きました。いろんな思い出がここにはあります。田原少年は3号に思いを寄せ嬉しいばかりですが私はどうにも寂しいです。

猫のヒラマサ

下あごから口の中にかけて悪性の腫瘍がきた子が広島県のセンターから来ました。腫瘍を取りきることはできませんし転移も免れません。確かに生きています。このまま息絶えさせるぐらいなら私は外科的処置を選択します。ただ純粹に食べたいものを食べられ



るようにしたい。それが3日しかなかったとしても腫瘍で噛み合わせもずれ、下のキバが上唇を刺激していたので切歯。後足はありませぬ。トラバサミの被害だと思われませぬ。トラバサミでひどい目に遭い、腫瘍ができ、あげくにセンターに持ちこまれたのです。

手術の翌日、私の愚行に

仏様が笑いながら「しようがないヤツじゃ」と願いを叶えてくださいました。大きな腫瘍がなくなりスッキリ♪やはり最初はちゅる。口の中に腫瘍があるので固形物は食べにくいでしょう。毎日ちゅるでええと思ふうとりました。ところが猫用にヒラマサのアラを圧力かけていたら欲しそうに鳴くので置いてみたらちゃんと噛んで食べていました。『お前の名前はヒラマサにしよう！』ヒラマサはその後大阪の支援者さんがスタッフのために送ってくれたウナギを4分の1匹食べました。ヒラマサにはなんでも食べさせたい。「オレはも

うじゅうぶん喰いつくしたぜ」と満足するまでいろんなものを食べさせたい。

※人間が食べるものは毒ではありませぬ。昭和の猫はそれでしつかり長生きしてたでしよ。安価なフードの方がよほど毒です！



【さるかに合戦?】あきらの朝ごはんは採れたて野菜とおにぎり。さるかに合戦どおり猿はおにぎりが大好きです。でも「売り物」のおにぎりは食べませぬ。防腐剤がイヤなのだと思ひます。おにぎりなのにバラして食べるこくゆく時はあんまりお腹が減ってませぬ。先に採りたてキュウリを1本食べたから満腹なんですよ(笑)

9月の予定

- 9月5日||秋田TNR
- 10日||栃木拠点TNR
- 23日||広島本部TNR

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
(http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JANGIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。

(https://japangiving.jp/supports/1281) 皆さまからのご支援、よろしくお願ひいたします。